

# 平成26年度 第1回中央区地域公共交通会議（議事要旨）

日時：平成26年6月6日（金）10：00～11：00

場所：銀座ブロッサム 7階 ジャスミン

## I. 議事

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事
  - (1) 中央区コミュニティバス（江戸バス）について
  - (2) その他
4. 閉会

## II. 出席者

次頁の出席者名簿 参照

## III. 配付資料

平成26年第1回中央区地域公共交通会議 次第

中央区地域公共交通会議 構成員名簿

中央区地域公共交通会議 設置要綱

- 資料1 : 江戸バスに関するこれまでの検討経緯
- 資料2 : 江戸バス利用実態
- 資料3 : 江戸バスの抱える課題と今後の検討内容
- 資料4 : 中央区区政世論調査結果
- 資料5 : 江戸バス利用者アンケート調査 調査票

### ＜出席者名簿＞

役職名	氏名	出欠	備考
流通経済大学流通情報学部教授（会長）	苦瀬 博仁	○	
東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准教授	大森 宣暁	○	
国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官	関根 肇	○	代理出席： 輸送担当 土屋 隆志
国土交通省東京国道事務所交通対策課長	齋島 洋伸	○	
東京都建設局第一建設事務所管理課長	関 正明	○	
警視庁交通部交通規制課課長代理	渋谷 泰明	○	
警視庁中央警察署交通課長	本多 陽二	○	
警視庁久松警察署交通課長	馬渡 幸一	○	
警視庁築地警察署交通課長	相庭 政光	○	
警視庁月島警察署交通課長	三井 都留雄	○	
東京都交通局自動車部計画課長	眞子 武久	○	
日立自動車交通株式会社統括部長	関田 和弘	○	
一般社団法人東京バス協会乗合業務担当課長	若林 淳	○	
東京都交通運輸産業労働組合協議会バス部会事務長 （東京交通労働組合書記長）	福田 智	×	欠席
京橋地域町会連合会会長	布施 徳	○	
日本橋地域町会連合会会長	湧井 恭行	×	欠席
月島地域町会連合会会長	鹿島 新吾	○	
中央区商店街連合会会長	重盛 永造	○	代理出席：柴川 賢
中央区工業団体連合会会長	森山 照明	×	欠席
中央区観光協会会長	古屋 勝彦	○	代理出席：関 泰程
企画部長	田中 武	×	欠席
総務部長	島田 勝敏	×	欠席
区民部長	新治 満	×	欠席
福祉保健部長	平林 治樹	○	
都市整備部長	田村 嘉一	○	
教育委員会事務局次長	坂田 直昭	×	欠席
環境土木部長	宮本 恭介	○	

## IV. 議事

### 1. 開会

事務局（望月環境政策課長）

### 2. 会長挨拶

流通経済大学流通情報学部教授 苦瀬会長

### 3. 議事

#### (1) 中央区コミュニティバス（江戸バス）について

##### 【事務局（望月環境政策課長）】

資料説明

##### 【苦瀬会長】

資料の確認になりますが、資料1はこれまでの検討経緯、資料2は利用実態の報告となっております。資料3では江戸バスの抱える課題と今後の検討内容が記載されています。また、資料3では運行ルートや運行間隔などについての意見も記載されており、区としてはこれらを少しずつ検討していきたいという理解でよろしいでしょうか。

##### 【事務局（望月環境政策課長）】

そのとおりでございます。資料ではこれまで寄せられた意見をまとめており、今回は昨年実施した区政世論調査の中でも同様の意見をいただいております。

運行間隔については、1周約70分のルートを南北4台ずつのバスで運行しており、現在の20分間隔が目一杯の状況です。ルート改善については厳しい状況もありますが、区としては、これらの要望を受けて南北を貫くような形でのルートを検討しております。また、その中で運行改善が図られればと考えているところでございます。

##### 【渋谷委員】

資料2で、利用客数が1台あたり25人などの記述がありますが、江戸バスの運行間隔が20分間隔なので、1時間当たりの利用客数に直せば、これに3をかけるという考え方でよろしいでしょうか。

##### 【事務局（望月環境政策課長）】

そのとおりでございます。00分発、20分発、40分発と20分間隔で運行しているので、3をかけていただければ1時間当たりの利用客数になります。

**【苦瀬会長】**

それに関連して、資料の2で北循環が1台あたり20人、南循環が25人などと記述されていますが、この人数はどう判断したらいいのでしょうか。一般的な交通計画で考えると、車内が満員であれば運行台数を増やそう、がらがらであれば増やさなくて良いと考える。極端な例で言えば、1台あたり20人であっても、出発地からずっと20人乗っていたらずっと混んでいて大変だという話ですが、途中のバス停で1人ずつ乗って1人ずつ降りていったら、車内には1人しか乗っていないということになり、これでは増やせないということになると思う。つまり、交通計画でいうと断面交通量というのがどのくらいかというのが非常に重要だと思うのですが、そういうデータは用意されていないのでしょうか。

**【事務局（望月環境政策課長）】**

申し訳ございません。バス停ごとや時間帯・曜日別での集計しか行っていないので、そういった資料は用意できておりません。なお、江戸バスは運行開始から約5年が経過しており、乗車人数は落ち着き、利用傾向もある程度把握できていることから、今後このような調査は必要に応じて実施していきたいと考えております。

**【苦瀬会長】**

例えば、地下鉄では朝晩のラッシュアワーは大勢の人が乗るから運行間隔が詰まっているが、昼間はあまり乗っていないから運行間隔も長くなるわけです。もちろん、江戸バスはコミュニティバスなので、20分間隔という縛りがある部分は理解できますが、一般的には、混雑していれば台数を増やして運行間隔を縮めれば良いし、それで儲かるのであればそれで良いという議論もあるでしょうし、また一方で、1台あたり20人といっても実際はがらがらだとすると台数は増やせないという議論もあると思います。その辺りを分析しておいた方が、今後の課題は分かりやすくなるのではと思っています。是非ご検討をお願いします。

**【事務局（望月環境政策課長）】**

江戸バスの定員35名の中での利用客数を示した資料となっておりますが、車内がどのくらいの混雑状況であるかという部分については、今後の検討事項とさせていただければと思います。

**(2) その他**

**【事務局（望月環境政策課長）】**

昨年、この会議でBRTに関する検討状況の報告をさせていただいたところですが、現在も関係機関と協議調整を続けているところがございます。まだ報告できる状況にはなっておりませんが、現在も調査検討を行っており、協議を続けているという状況をまず報告させていただきたいと思います。

また、今年度の予定については、BRTの事業者の公募を区で行っていききたいと考えております。具体的な時期等についてはまだお示しできる状況ではございませんが、この会議とは別の場で、事業者の公募・選定の作業を行っていききたいと考えております。

なお、事業者が決まりましたら、この会議に参加してもらいたいと考えており、このことについて、本日提案させていただきたいと考えております。

今回の会議では、江戸バスに関してご意見をいただいておりますが、BRTの検討状況についても随時報告させていただきたいと考えております。

**【苦瀬会長】**

この地域公共交通会議の中でこれまでBRTについての議論がなされており、現在その結果を受けて、区の方で色々と検討されている。今後、この会議では事業者の公募についての議論はしないが、報告はいただけるという理解でよろしいでしょうか。

**【事務局（望月環境政策課長）】**

これまでも、この会議の中でBRTについての報告をさせていただいており、今後も報告をさせていただきたいと思っております。また、出来れば、決定した事業者にこの会議に参画してもらいたいと考えており、このBRTについては区と一緒に検討を進めていききたいと考えております。

**【苦瀬会長】**

今の事務局の説明で皆様よろしいでしょうか。ありがとうございます。では、そういう方向で進めていただければと思います。

**【事務局（望月環境政策課長）】**

会議の次回開催日は未定ですが、現在江戸バスの新しいルートを検討している状況です。財政的な負担も含めなかなか厳しい状況にある中で、どうできるかということはこれから詳細に検討をしていかななくてはならないと考えております。そういった概要が固まった際、あるいは、先ほど報告させていただいたBRTについて新たに報告する事項が発生した際には、改めて会議開催を案内させていただきたいと思っております。

**【苦瀬会長】**

他に何かございますでしょうか。ご質問がないようでしたら、平成26年第1回中央区地域公共交通会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。